

2026年4月2日

2026年ゴールデンウィーク(4月25日～5月7日)の旅行動向

JTBは、「ゴールデンウィーク(以下、GW)＜2026年4月25日～5月7日＞に、1泊以上の旅行に出かける人」の旅行動向見通しをまとめました。本レポートは、JTBグループが実施したアンケート調査に加え、各種経済動向、業界動向、運輸・観光関連データ、宿泊施設の予約状況、各種意識調査などをもとに推計したもので、1969年より継続的に調査を実施しています。

**堅調な旅行意欲と日並びの良さを背景に、旅行者数は増加、平均旅行予定費用は前年並み
国内は短期間・近場・自家用車利用が増加し、物価高でも費用を抑えつつ楽しむ工夫
海外は3泊～5泊が中心で、韓国、台湾、東南アジアが人気**

- GWの総旅行者数が2,447万人(対前年101.9%)
総旅行消費額が1兆2,876億円(対前年101.1%)
- 国内旅行は、旅行者数が2,390万人(対前年101.7%)、平均旅行予定費用は46,000円(対前年97.9%)、旅行消費額が1兆994億円(対前年99.5%)
- 海外旅行は、旅行者数が57.2万人(対前年108.5%)、平均旅行予定費用は329,000円(対前年102.2%)、旅行消費額が1,882億円(対前年110.9%)

【国内旅行】

- 旅行者数は、日並びの良さ、堅調な旅行意欲もあり微増
- 平均旅行予定費用は、物価高などの影響を受け引き続き高止まり、短期化により微減
- 行先は居住地域内を中心とした近場で短期間、自家用車での近距離の旅行が増加
- 旅行目的は、「家族と過ごす」「食事、地域の味覚を味わう」「リラックスする、のんびりする」

【海外旅行】

- 旅行者数は、コロナ禍前を超える国際線航空便の回復や、日並びの良さも後押しし増加
- 平均旅行予定費用は、日数の増加と円安や物価高の影響を受け微増
- 行先は韓国、台湾、東南アジアなどの比較的近場、ヨーロッパや北米も根強い人気

(図表1)2026年GW旅行予定人数・費用推計値

	2026年GW		2025年GW		2019年GW
	推計	前年比	実績推計	前年比	実績推計
総旅行人数(延べ)	2,447万人	101.9%	2,403万人	95.4%	2,587万人
国内旅行	2,390万人	101.7%	2,350万人	95.2%	2,487万人
海外旅行	57.2万人	108.5%	52.7万人	105.4%	100.3万人
一人あたりの平均旅行予定費用					
国内旅行	46,000円	97.9%	47,000円	106.8%	35,900円
海外旅行	329,000円	102.2%	322,000円	91.0%	268,000円
総旅行消費額	1兆2,876億円	101.1%	1兆2,742億円	100.9%	1兆1,615億円
国内旅行	1兆994億円	99.5%	1兆1,045億円	101.7%	8,927億円
海外旅行	1,882億円	110.9%	1,697億円	95.9%	2,688億円

* 国内旅行人数：宿泊を伴う旅行者の人数(観光および帰省目的の旅行に限る)、海外旅行人数：出国者数(業務目的の旅行を含む) * 比率はいずれも小数点第2位以下を四捨五入

* 一人あたりの平均旅行費用：一人1回あたりの費用、交通費・宿泊費・土産代・食費等の旅行中の諸費用を含む(海外旅行平均費用は、燃油サーチャージも含む)

* 2025年以前の数値：海外旅行人数は法務省の日本人出国者数データを用いており、それ以外の項目は実績に基づき再推計

注) 2019年のGWは今上天皇即位に伴い、4月27日～5月6日が10連休となっていたため、例年に比べ海外旅行が活況であった。

1. 今年のGWのカレンダーと旅行傾向

2026年GWのカレンダー

24	25	26	27	28	29	30	5/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
金	土	日	月	火	祝	木	金	土	祝	祝	祝	振	木	金	土	日

← 調査対象期間(出発日基準) →

2026年のGWのカレンダーは、5月2日(土)~6日(水・振)が5連休となっています。4月30日(木)・5月1日(金)を休みにすると8連休、5月7日(木)・8日(金)を休みにすると9連休、連続させると12連休以上となり、組み合わせ次第で長期連休が取りやすい暦となっています。ここでは、2026年GW(4月25日~5月7日)の帰省を含めた旅行意向の詳細について、アンケートで聞きました。

GW期間中の旅行について、「行く(“行く”と“たぶん行く”の合計)」と回答した人は23.4%となり、前年(2025年4月25日~5月7日)と比べると2.5ポイントの増加となりました(図表2)。

性年代別では、「男性29歳以下(34.6%)」、「女性29歳以下(33.7%)」、「男性30代(33.1%)」の順に高く、いずれも30%を超えています。また男女60代を除くすべての世代で旅行意欲が前年よりも上昇し、特に男女ともに40代・50代の増加率が高くなりました(図表3)。

また、GW前の4月1日~24日、またはGW後の5月8日~31日の旅行について聞いたところ、「GWだけに行く」が6.7%であったのに対し、「GWとその前後に行く」は16.7%、「GWの前後だけに行く」が10.1%となり、「GWだけ」より「GWの前後だけ」行く人が上回る結果となりました。働き方の柔軟化で大型連休の前後に休暇を取る人が増え、旅行時期が分散する傾向は継続していると考えられます(図表4)。

旅行に行かない理由としては、上位から「GWは混雑するから(45.8%)」、「GWは旅行費用が高いから(34.6%)」、「家計に余裕がないので(24.3%)」となりました。また「GWはいつも家でゆっくりしているから(19.4%)」は、全選択肢の中で唯一、前年より増加しました。混雑や費用の高騰を踏まえ、無理をしない休みの過ごし方を選ぶ層がいるといえそうです(図表5)。

(図表2)GWの旅行意向

(単一回答、回答者数=10,000)

	%	前年比
行く	23.4	+2.5
行く	9.9	+0.9
たぶん行く	13.5	+1.6
行かない	76.6	▲2.5
たぶん行かない	30.7	+1.9
行かない	45.9	▲4.4

(図表3)GWの旅行意向

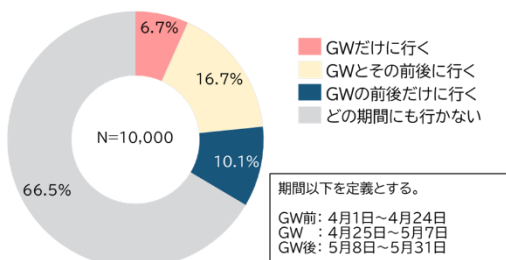
(性年代別、単一回答、回答者数=10,000)

男性	行く	前年比	女性	行く	前年比
全体(4952)	25.9	+2.0	全体(5048)	20.9	+3.1
29歳以下(925)	34.6	+0.6	29歳以下(888)	33.7	+2.2
30代(722)	33.1	+2.8	30代(702)	26.5	+2.9
40代(934)	28.9	+3.7	40代(917)	23.0	+5.3
50代(840)	24.6	+4.8	50代(842)	17.8	+4.6
60代(774)	18.0	▲2.0	60代(812)	12.8	▲1.4
70代(757)	14.0	+0.2	70代(887)	12.1	+1.8

*「行く」は「行く」と「多分行く」の合計

(図表4)GW期間とその前後の旅行実施予定

(複数回答、回答者数=10,000)



(図表5)今回のGW旅行に行かない理由

(複数回答、回答者数=7,661)

	%	前年比
GWは混雑するから	45.8	▲0.1
GWは旅行費用が高いから	34.6	0.0
家計に余裕がないので	24.3	▲1.6
GWはいつも家でゆっくりしているから	19.4	+1.5
仕事などで休暇が取れないから	13.5	▲0.7
他の時期に旅行に出かけるから	12.5	▲0.5
特に旅行したい場所がないから	12.3	▲0.4
なんとなく行く気にならないから	10.2	▲0.2
家を離れられない事情があるから	7.3	▲0.1
旅行以外にやりたいことがあるので	6.6	▲0.3
家族、友人等と休日が合わないから	6.2	0.0

(図表 6) 今年の GW の旅行に対する考え方について (複数回答、回答者数=2,060)

	%	前年比
昨年のGWより旅行日数を増やす	15.4	▲ 2.1
昨年のGWより旅行日数を減らす	10.4	0.0
GWの長期休暇を4月25日～5月7日以外に取得して旅行する	7.1	▲ 0.9
昨年のGWより遠方へ旅行したい	9.6	▲ 5.8
昨年のGWより近場の旅行に行きたい	8.5	▲ 0.8
昨年より旅行にお金をかけて贅沢に過ごす予定	10.7	▲ 1.4
昨年より旅行にお金をかけず質素に過ごす予定	11.0	▲ 0.4
昨年同時期に比べて、お出かけや外出する頻度を減らす	5.7	0.0
昨年同時期に比べて、お出かけや外出する頻度を増やす	6.2	▲ 1.9
ガソリン代が高いので車の利用は控えたい	5.0	+0.1
ガソリン代に関係なく、車を利用したい	13.1	▲ 2.0
国際情勢や感染症、円安や物価高に関わらず、旅行したい	3.3	▲ 0.4
国際情勢や感染症などの影響の少ない地域(渡航手続きが簡素な地域)を旅行したい	3.1	+0.3
来年以降、円安や物価高がさらに進んだり物価が上がったりする可能性があるので、今のうちに旅行したい	4.3	+1.5

GW に旅行へ行くと答えた本調査対象者 2,060 人に対して、今年の GW の旅行に対する考え方を聞きました。旅行先については、「昨年の GW より遠方へ旅行したい(9.6%)」が前年よりも 5.8 ポイント減少し、「昨年の GW より近場の旅行に行きたい(8.5%)」の減少幅(0.8 ポイント)を大きく上回りました。また「昨年より旅行にお金をかけて贅沢に過ごす予定(10.7%)」は 1.4 ポイント減少し、「昨年より旅行にお金をかけず質素に過ごす予定(11.0%)」を下回りました。そのほか日数や頻度についても「増やす」と回答した割合は減少傾向にあります。ガソリンについては、「ガソリン代に関係なく、車を利用したい(13.1%)」は 2.0 ポイント減少しました。

また「国際情勢や感染症、円安や物価高に関わらず、旅行したい(3.3%)」は 0.4 ポイント減少し、「国際情勢や感染症などの影響の少ない地域を旅行したい(3.1%)」は 0.3 ポイント増加、「来年以降、円安や物価高がさらに進んだり物価が上がったりする可能性があるので、今のうちに旅行したい(4.3%)」が 1.5 ポイント増加するなど、先行きが不透明な状況が続く中、「行けるときに旅行に行く」層の存在もうかがえます(図表6)。

2. 国内旅行の動向

国内旅行者数は 2,390 万人(対前年 101.7%)、平均旅行予定費用は 46,000 円(同 97.9%)、総国内旅行消費額は 10,994 億円(同 99.5%)です。物価高などの影響はありますが、日並びの良さも後押しし、旅行意欲は堅調とみられ、旅行者数は対前年比で微増。旅行費用は高止まりしているものの、旅行日数の短期化から、微減と予測します(図表 1)。

今年の GW の旅行に関するアンケート調査において、本調査回答者(2,060 人)のうち旅行先を「日本国内」と答えた 1,941 人の旅行の傾向を分析しました。

旅行出発日: 出発日のピークは「5 月 2 日(土)(19.6%)」、次いで「5 月 3 日(日・祝)(14.7%)」、「4 月 24 日(金)以前(14.5%)」となっており、後半の 5 連休にピークの中心がみられますが、4 月 24 日(金)以前の早期出発も一定割合を占め、混雑を避ける様子が見られます(図表 7)。

旅行日数: 全体では「1 泊 2 日(39.9%)」が最も多く前年から 6.4 ポイント増加しました。次いで「2 泊 3 日(32.0%)」は 0.7 ポイントの減少、「3 泊 4 日(16.2%)」は 3.6 ポイントの減少となるなど、2 泊以上はいずれも増加しておらず、合計で 6.5 ポイントの減少となっています(図表 8)。

旅行目的: 最も多いのは「家族と過ごす」の 28.5%となりました。次いで、「食事、地域の味覚を味わう(25.9%)」、「リラックスする、のんびりする(24.8%)」となりました。旅行先での観光や体験より、同行者との時間そのものを重視する傾向が強まっていると考えられます(図表 9)。

旅行先: 「関東(21.0%)」となりましたが前年から 1.4 ポイント減少、次の「近畿(15.5%)」も 1.6 ポイントの減少となりました。増加率でみると、「甲信越(8.6%)」が 1.8 ポイントの増加、「東北(9.0%)」が 1.3 ポイントの増加、「東海(10.8%)」が 1.2 ポイントの増加となりました(図表 10)。

その旅先を選んだ理由として、「行きたい場所があるので(40.4%)」が最も多く、次いで「自家用車やレンタカーで行ける場所なので(18.2%)」、「帰省先なので(17.5%)」となりました(図表 11)。居住地別に旅行先を見る

と、旅行先と居住地が同じ地方である域内旅行の割合は、「北海道」が最も高い 73.3%、次いで「九州(61.3%)」、「東北(52.5%)」となりました。一方で、「関東」は 28.6%と最も低くなりました(図表 12)。また前年と比較すると、域内旅行の割合は関東地方を除きすべての地域で増加しました。前年は「2025 年大阪・関西万博」が開催されていた近畿地方以外のすべての地域で減少していたため、今年は域内旅行の増加傾向がより一層強まっているといえます(図表 13)。

同行者:「子供づれ(中学生まで)の家族旅行(23.4%)」が最も多く、前年より 0.4 ポイント増加、次いで「夫婦のみ(21.6%)」は 1.9 ポイントの増加となりました。家族旅行は合計で 1.5 ポイント増加している一方で、他はすべて減少しています(図表 14)。

一人当たりの平均旅行予定費用:「1 万円～2 万円未満(20.4%)」が最も多く、前年より 2.1 ポイント増加しました。次いで「2 万円～3 万円未満(17.9%)」、「4 万円～5 万円未満(16.8%)」となりましたが、いずれも前年から減少しています。2 万円以下が増え、旅行費用は抑える傾向が強まっています(図表 15)。

利用交通機関:「自家用車(54.6%)」が最も多く、次いで「JR 新幹線(24.7%)」、「JR 在来線・私鉄(19.8%)」となりました。「JR 新幹線」と「JR 在来線・私鉄」が減少した一方、「自家用車」は 3.7 ポイント、「格安航空会社(LCC)(5.5%)」は 1.4 ポイント増加しました。「高速/長距離バス」や「貸し切りバス」も前年と同レベルにとどまっており、費用を抑えられる交通手段が選ばれている傾向がみられます(図表 16)。

利用宿泊施設:「ホテル(62.0%)」が最も多く、次いで「旅館(22.9%)」となりましたがいずれも減少しています。前年と比べ、宿泊施設はすべて減少しているのに対し、「実家・親族の家(20.1%)」は 1.4 ポイント、「知人・友人の家(3.8%)」は 0.7 ポイントの増加となりました(図表 17)。

出かける場所として気になっているところ:「自然が楽しめる場所(国立公園や花畑など)(26.9%)」が最も多く、次いで「寺社仏閣、史跡などの歴史スポット(18.3%)」、「自然が楽しめる場所(登山やアウトドアなど)(13.7%)」となりました(図表 18)。

JTB の国内旅行における人気方面は、東京ディズニーリゾート®を含む東京、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを含む関西、などテーマパークとなっています。また、九州や沖縄など JR や航空機利用の長距離方面も好調です。

(図表 7)旅行出発日(単一回答)

	%	前年比
4月24日(金)以前	14.5	+6.1
4月25日(土)	6.9	+0.4
4月26日(日)	2.5	▲9.1
4月27日(月)	3.6	▲1.0
4月28日(火)	2.7	▲2.2
4月29日(水・祝)	7.6	+0.4
4月30日(木)	3.8	▲0.5
5月1日(金)	10.2	+3.7
5月2日(土)	19.6	+11.0
5月3日(日・祝)	14.7	▲4.9
5月4日(月・祝)	4.8	+0.8
5月5日(火・祝)	3.3	+0.4
5月6日(水・振)	2.1	▲4.4
5月7日(木)	3.8	▲0.6

(図表 8)旅行日数(単一回答)

	%	前年比
1泊2日	39.9	+6.4
2泊3日	32.0	▲0.7
3泊4日	16.2	▲3.6
4泊5日	5.8	0.0
5泊6日	2.3	▲1.6
6泊7日	0.9	▲0.6
7泊8日	1.1	0.0
8泊以上	1.7	▲0.1

(図表 9)旅行目的(複数回答)

	%	前年比
家族と過ごす	28.5	0.0
食事、地域の味覚を味わう	25.9	▲1.7
リラクセスする、のんびりする	24.8	▲3.9
温泉でゆっくりする	24.7	▲0.6
自然や風景を楽しむ	24.4	▲1.8
名所や史跡などを見て回る	13.6	+0.4
知人・友人・パートナーと過ごす	12.8	▲2.3
帰省	11.9	▲0.4
趣味を楽しむ・極める	11.3	▲4.2
テーマパークやレジャー施設	10.6	▲1.4
家族や親戚を訪問する	10.5	▲0.9

(図表 10)旅行先(単一回答)

	%	前年比
北海道	9.6	+0.9
東北	9.0	+1.3
関東	21.0	▲1.4
甲信越	8.6	+1.8
東海	10.8	+1.2
北陸	4.2	▲0.9
近畿	15.5	▲1.6
中国	5.6	+0.2
四国	4.0	+0.3
九州	9.5	▲0.2
沖縄	2.2	▲1.7

(図表 11)旅行先を選んだ理由(複数回答)

	%	前年比
行きたい場所があるので	40.4	▲3.3
自家用車やレンタカーで行ける場所なので	18.2	▲0.8
帰省先なので	17.5	+0.4
泊まりたい宿泊施設があるので	14.8	▲1.0
季節を感じられる場所に行きたいので	13.3	+2.8
友人・知人など会いたい人が住んでいるので	12.0	▲1.3
行ってみたいイベントがあるので	11.2	+1.8
自分の好きな地域を応援したいので	8.6	▲1.8
観光客などで混雑してなさそうなので	7.1	▲0.8
その土地で今流行っているものを体験したいので	6.1	▲0.8
手頃な値段のツアーや航空チケット・宿泊先等を見つけたので	4.8	▲1.0
地域振興・応援したいので	3.8	+0.8

(図表 12)回答者の居住地別 GW の旅行先

(地域別、単一回答、回答者数=2,060)

居住地	GWの旅行先							
	北海道	東北	関東	中部 (東海・ 甲信越・ 北陸)	近畿	中国・ 四国	九州 (沖縄含 む)	海外・ その他
全体(2060)	9.0	8.5	19.8	22.2	14.6	9.1	11.0	5.8
北海道(105)	73.3	2.9	7.6	5.7	3.8	1.0	4.8	1.0
東北地方(141)	8.5	52.5	22.7	9.2	3.5	0.7	0.7	2.1
関東地方(760)	7.8	9.5	28.6	26.2	9.3	3.8	7.5	7.4
中部地方(341)	3.2	2.9	19.9	47.2	13.8	4.1	3.5	5.3
近畿地方(385)	3.9	2.1	14.3	15.6	34.8	15.3	7.3	6.8
中国・四国地方(168)	1.8	1.8	8.3	6.5	19.6	42.3	15.5	4.2
九州地方(160)	5.6	3.1	8.1	5.0	4.4	7.5	61.3	5.0

*図表 12、13 のみ全体傾向把握のため、先行を「海外」としている旅行者を含む

(図表 13)回答者の居住地別 GW の旅行先

前年増減比(地域別、単一回答、回答者数=2,060)

居住地	GWの旅行先							
	北海道	東北	関東	中部 (東海・ 甲信越・ 北陸)	近畿	中国・ 四国	九州 (沖縄含 む)	海外・ その他
全体	0.8	1.3	-1.2	2.0	-1.4	0.5	-1.7	-0.3
北海道	13.3	-1.5	-4.6	1.3	-0.6	-0.1	0.4	-7.9
東北地方	3.6	13.3	-8.7	-0.6	-1.4	0.7	-4.2	-2.8
関東地方	1.3	-1.7	0.0	3.4	-1.0	-0.5	-1.6	0.2
中部地方	-1.5	0.8	-0.9	6.5	-1.3	-2.1	-3.6	2.0
近畿地方	-1.5	1.2	2.8	0.2	1.6	3.2	-5.7	-1.7
中国・四国地方	-2.8	1.1	-8.9	3.9	-6.2	13.2	-1.1	0.9
九州地方	1.1	1.8	-2.2	-2.1	-6.5	-7.9	15.1	0.5

(図表 14)旅行の同行者(単一回答)

	%	前年比
家族旅行	57.3	+1.5
子供づれ(中学生まで)	23.4	+0.4
夫婦のみ	21.6	+1.9
それ以外(母娘、三世代等)	12.4	▲0.7
家族と友人・知人	10.2	▲0.6
友人・知人・パートナー	14.8	▲0.1
団体(職場など)	0.6	▲0.2
ひとり	16.4	▲0.5
その他	0.7	0.0

(図表 15)一人当たりの旅行費用(単一回答)

	%	前年比
1万円未満	10.6	+1.0
1万円～2万円未満	20.4	+2.1
2万円～3万円未満	17.9	▲0.7
3万円～4万円未満	9.3	▲0.5
4万円～5万円未満	16.8	▲0.3
5万円～7万円未満	7.4	▲1.8
7万円～10万円未満	10.3	+0.8
10万円～15万円未満	3.7	▲0.7
15万円～20万円未満	2.2	+0.3
20万円～30万円未満	0.6	▲0.4
30万円～40万円未満	0.4	0.0
40万円以上	0.5	+0.3

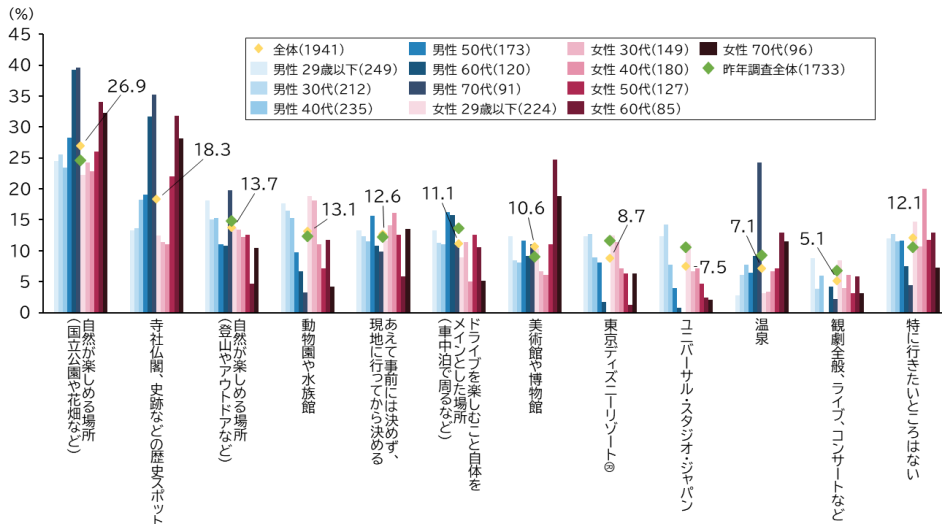
(図表 16)利用交通機関(複数回答)

	%	前年比
自家用車・レンタカー	63.0	0.0
自家用車	54.6	+3.7
レンタカー	8.4	▲3.7
鉄道	44.5	▲4.1
JR新幹線	24.7	▲2.0
JR在来線・私鉄	19.8	▲2.1
航空機	16.2	▲3.4
従来の航空会社	10.7	▲4.8
格安航空会社(LCC)	5.5	+1.4
高速/長距離バス	6.9	0.0
貸切バス	1.5	+0.1
フェリー・船舶	1.8	▲0.4
その他	0.8	▲0.1

(図表 17)利用宿泊施設(複数回答)

	%	前年比
ホテル・旅館	84.9	▲2.0
ホテル	62.0	▲0.2
旅館	22.9	▲1.8
その他宿泊施設	15.8	▲5.8
民宿・ペンション・公営施設等	4.8	▲1.2
民泊・貸別荘	2.6	▲1.2
ホステル・ゲストハウス	1.8	▲1.4
キャンプ場・キャンピングカーなど、アウトドアに関する宿泊	5.0	▲1.8
本来宿泊施設ではないユニークな施設(寺・図書館・城など)	1.6	▲0.1
実家・親族の家	20.1	+1.4
友人・知人の家	3.8	+0.7
その他	1.3	▲0.2

(図表 18)今年のGWに出かける場所として気になっているところ(性年代別、複数回答)



*図表 7～11,14～18 の回答者数はすべて 1,941

*「寺社仏閣、史跡などの歴史スポット」は表現を見直したため前年比なし

3. 海外旅行の動向

海外旅行者数は 57.2 万人(対前年 108.5%)と推計しました。好調な訪日インバウンド市場の追い風があり、国際線航空便はコロナ禍前の輸送容量以上となっており、加えて日並びのよさ、旅行意欲の上昇から、前年を上回る見込みです。平均旅行予定費用は 329,000 円(同 102.2%)、総海外旅行消費額は 1,882 億円(同 110.9%)です。具体的な傾向については、以下で述べる通りです。

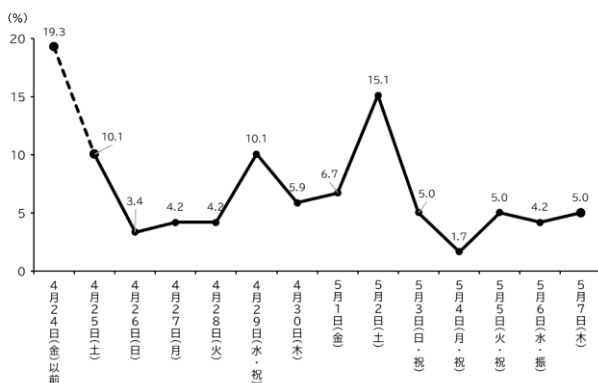
本調査対象者 2,060 人のうち、今年の GW の旅行先を「海外」と答えた人は 119 人(5.8%)となりました。出発日のピークは、「4 月 24 日(金)以前(19.3%)」、次いで「5 月 2 日(土)(15.1%)」、「4 月 25 日(土)(10.1%)」と「4 月 29 日(水・祝)(10.1%)」が同率となっています(図表 19)。旅行日数は「3泊4日(25.2%)」が最も多いものの、前年より 4.0 ポイント減少、次いで「4泊5日(16.8%)」が 3.5 ポイント増加、同率の「5泊6日(16.8%)」は 2.6 ポイントの増加となりました。前年と比較すると連休の取りやすさもあり、4泊~6泊も増加しています。一方、昨年は 0 であった「1泊(5.0%)」も 5 ポイント増加しました(図表 20)。また旅行費用は「5万円~10万円未満(22.7%)」が最も多く、前年より 1.5 ポイント増加、次いで「40万円以上(21.0%)」が前年より 6.8 ポイント増加、同率で「20万円~40万円未満(21.0%)」は 4.2 ポイントの増加、となりました(図表 21)。

旅行先については国・地域別に推計を行いました。上位から「韓国(25.0%)」が最も多く、次いで、「台湾(16.3%)」となりました。また全体のうち、東南アジア合計は 17.5%、アジア合計は 79.0%を占めます。一方、増加率をみると「アメリカ・カナダ(北米)」、「ヨーロッパ」、「オーストラリア・ニュージーランド」などの遠方も二桁の伸びを示しており、根強い人気がかがえま(図表 22)。

JTB の海外旅行における人気方面は、ハワイ、台湾、韓国、グアムに加えアメリカ西海岸、オーストラリア、フランスとなっています。

この GW に旅行に行かない人も含めた事前調査対象者に、今後の海外旅行に対する意向を聞きました。海外旅行の行先別の実施時期をみると、「すぐに行きたい」という回答は「ハワイ(8.9%)」が最も多く、次いで「ヨーロッパ(8.1%)」、「オーストラリア・ニュージーランド(7.2%)」となりました(図表 23)。

(図表 19) 旅行出発日(単一回答)



*「4月24日(金)以前」は合算のため参考値

(図表 20) 旅行日数(単一回答)

旅行日数	回答者数	%	前年比
1泊2日	6	5.0	+5.0
2泊3日	14	11.8	▲2.4
3泊4日	30	25.2	▲4.0
4泊5日	20	16.8	+3.5
5泊6日	20	16.8	+2.6
6泊7日	10	8.4	+4.0
7泊以上	19	16.0	▲8.8

(図表 22) 旅行先(推計詳細)

旅行先	2026GW	%	2025GW	対前年比
東アジア合計	350,000	61.2	340,000	+2.9
韓国	143,000	25.0	114,000	+25.4
台湾	93,000	16.3	72,000	+29.2
中国	58,000	10.1	105,000	▲44.8
香港・マカオ	56,000	9.8	49,000	+14.3
東南アジア合計	98,000	17.1	85,000	+15.3
タイ	29,000	5.1	25,000	+16.0
シンガポール	21,000	3.7	17,000	+23.5
ベトナム	18,000	3.1	16,000	+12.5
フィリピン	17,000	3.0	16,000	+6.3
マレーシア	8,000	1.4	7,000	+14.3
インドネシア	5,000	0.9	4,000	+25.0
アジアその他	6,000	1.0	5,000	+20.0
アジア合計	454,000	79.4	430,000	+5.6
アジア以外合計	118,000	20.6	97,000	+21.6
アメリカ・カナダ	49,000	8.6	39,000	+25.6
ハワイ	12,000	2.1	10,000	+20.0
ヨーロッパ	26,000	4.5	21,000	+23.8
オーストラリア・ニュージーランド	12,000	2.1	10,000	+20.0
ミクロネシア・南太平洋	4,000	0.7	4,000	0.0
その他	15,000	2.6	13,000	+15.4
総計	572,000	100.0	527,000	+8.5

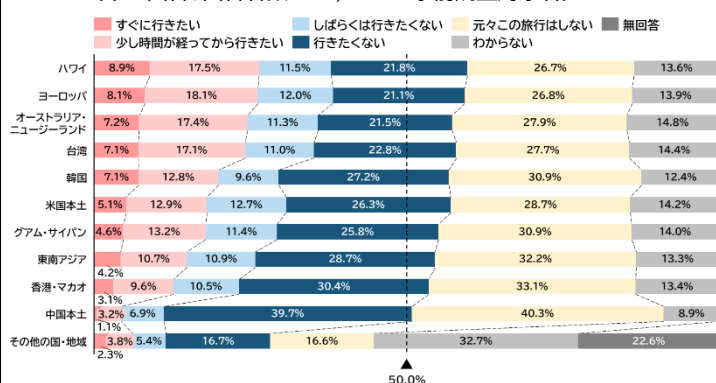
*前年まではアンケート結果を掲載しておりましたが、推計値の記載に変更いたしました

(図表 21) 一人当たりの旅行費用(単一回答)

旅行費用	回答者数	%	前年比
5万円未満	18	15.1	▲2.6
5万円~10万円未満	27	22.7	+1.5
10万円~20万円未満	24	20.2	▲9.9
20万円~40万円未満	25	21.0	+4.2
40万円以上	25	21.0	+6.8

(図表 23) 行先別、今後の海外旅行の実施意向

(単一回答、回答者数=10,000*事前調査対象者)



*前年までの選択肢「二度と行きたくない」を「行きたくない」に変更しています

*図表 19~21 の回答者数はすべて 119

4.旅行やレジャー消費をとりまく経済環境と生活者意識

日本経済は緩やかな回復基調が続いているものの、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇や、米国の通商政策をめぐる不確実性など、外部環境に起因するリスクは依然として大きく、先行きは不透明な状況です。日経平均株価は、2026年2月に一時5万8,000円台を付けた後、3月には5万2,000円前後で推移しており、市場には不安定さがあります。

政府の月例経済報告では、2026年2月の基調判断は「景気は、米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している。」とされています。個人消費についても、2025年9月に「持ち直しの動きがみられる。」との判断以降、その傾向が続いています。一方で、中東情勢に伴う物価上昇リスクや米国の政策動向など、懸念は多く、回復基調を楽観視できる状況ではありません。

物価動向をみると、2026年1月の主な消費者物価指数では「生鮮食品」が引き続き上昇している一方、「エネルギー」、「電気代」、「洋服」は、前年のピークを越え、上昇幅が落ち着きつつあります(図表24)。また賃金・消費面では、2025年は通年で実質賃金が前年比マイナスとなったものの、2026年1月の速報値は1.3%とプラスに転じ、改善の兆しが見られます。日本銀行の「生活意識に関するアンケート調査」でも、2025年6月以降「ゆとりが出てきた」が増加傾向にあります(図表25)。

今の暮らしぶりやGWの過ごし方

JTBが実施したアンケートによると、今の自身の生活とGWについて、「仕事や会社の業績が良化し収入が増えそう(7.6%)」、「家計に余裕がある(4.9%)」は前年より増加しました。また「特に生活費を節約していない(4.3%)」、「趣味や旅行などにかかる費用を減らしていない(7.9%)」、「先行きがわからないので、今のうちに大きな支出を考えたい(5.3%)」も増加しており、前年までの節約傾向から、消費に前向きなマインドへの変化がうかがえます。物価高の中でも、費用を抑える工夫をしながら旅行を楽しむ人が増えそうです。なお日並びの良さもあり、今年のGWは「昨年より長く休みが取れそう(5.2%)」は0.3ポイントの増加、「昨年より休みが取れそうにない(7.5%)」は0.9ポイントの減少となり、休みの取りやすさは海外旅行の増加にも寄与していると考えられます(図表26)。

今後1年間の旅行に対する意識については、「情勢や治安、衛生面の不安の少ない地域であれば、旅行をしたい(15.1%)」が前年より3.4ポイント減少しているものの、「情勢や治安、衛生面などに不安があるので、旅行は行きたくない(5.5%)」を上回っています。また「円安や物価高の影響の少ない地域であれば、旅行をしたい(9.3%)」と「円安や物価が上がっているため、しばらくは旅行したくない(8.8%)」は拮抗しており、物価・為替の影響を気にしない層も一定数存在します。また「自然現象・野生動物による不安やリスクが少ない地域・時期を選んで旅行をしたい(10.1%)」、「暑さや寒さ、花粉など、季節による自然現象の不快を避けられる地域・時期を選んで旅行をしたい(9.9%)」など、自然現象・野生動物などを考慮して、より安全で快適な旅行先を選びたいという意識もみられます(図表27)。

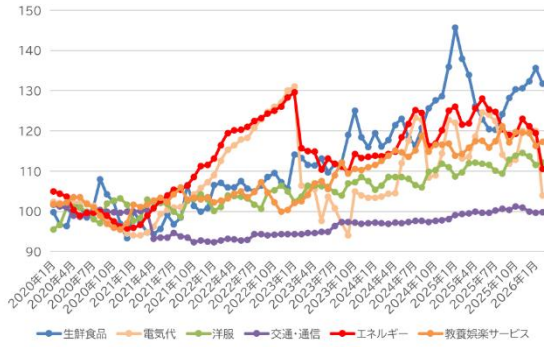
「今後1年間の旅行の支出に対する意向」については、「同程度(合算、48.7%)」が前年より1.5ポイント増加し、内訳をみると「単価も回数も同程度(31.5%)」が2.5ポイント増加していました。「支出を増やしたい(11.9%)」が0.3ポイント減少、「支出を減らしたい(39.4%)」は1.2ポイントの減少となっており、全体としては、同程度の予算を維持しつつ、旅行を実施しようとする生活者の様子がうかがえます(図表28)。

旅行の際に、気になるキーワード

最後に、「今年のGWに旅行に行く」と答えた本調査対象者に対し、旅行の際に気になるキーワードを聞いたところ、「日常から離れた非日常空間(32.5%)」が最も多く、次いで「その時期や場所でしかできない体験(24.3%)」、「本物の文化や食事に触れる体験(20.4%)」となりました。性年代別にみると、男女60代・70代では「地域の歴史・文化・自然について学ぶ旅」が高く、男女29歳以下では「好きな人・作品のために行く推し

活・聖地巡礼などの旅をはじめ、「デジタル機器から離れるデジタルデトックス」、「睡眠の質向上を目的としたスリープツーリズム」、「ぬいぐるみと一緒に楽しむぬい活の旅」など、趣味性や自己回復、SNS と親和性の高いキーワードが上位に挙がりました。旅行に求める価値は世代によって異なり、旅行が従来の観光だけでなく、生活者の関心に応じた体験へと多様に広がりつつあるといえそうです(図表 29)。

(図表 24)消費者物価指数の推移



出典:総務省「消費者物価指数(2020年基準)」データをもとに JTB 総合研究所作成

(図表 26) 今の自身の生活と GW について

(複数回答、回答者数=10,000)

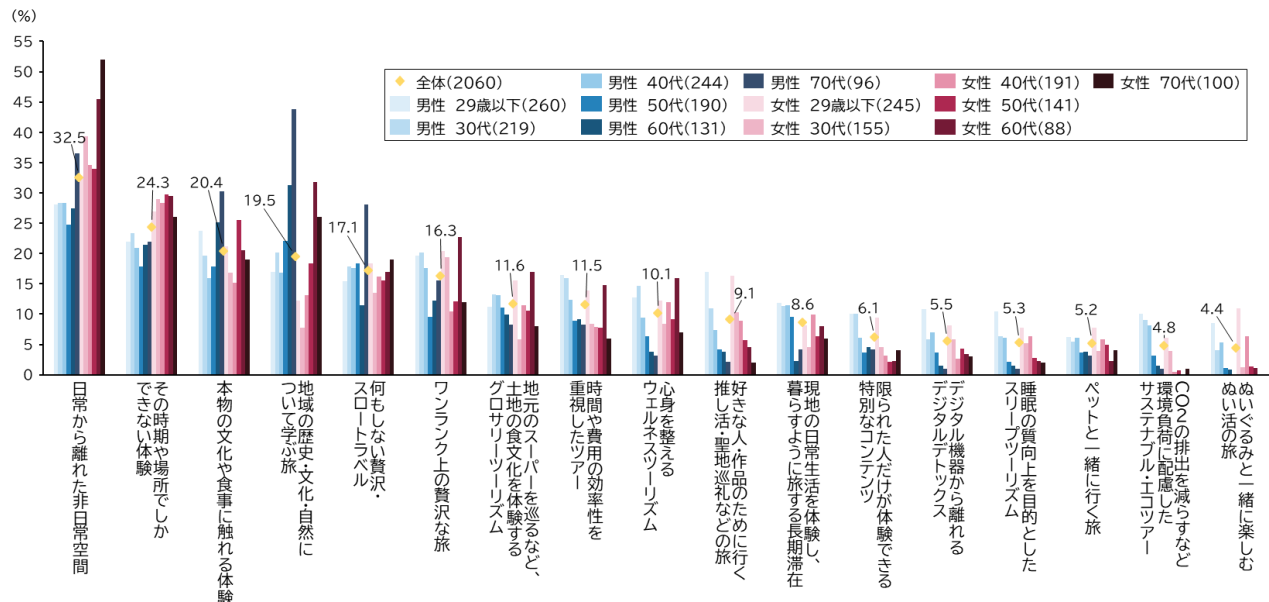
<自身の生活について>	%	前年比
仕事や会社の業績が良化し収入が増えそう	7.6	+0.4
仕事や会社の業績が悪化し収入が減りそう	13.8	▲0.7
家計に余裕がある	4.9	+0.8
家計に余裕はない	25.2	▲0.5
特に生活費を節約していない	4.3	+0.7
いつもより生活費を節約している	19.0	▲1.2
趣味や旅行などにかかる費用は減らしていない	7.9	+1.2
趣味や旅行などにかかる費用を減らしている	17.2	▲0.9
先行きがわからないので、今のうちに大きな支出を考えたい	5.3	+0.3
先行きがわからないので大きな支出は控えておきたい	16.8	▲1.3
<GWについて>		
昨年より長く休みが取れそう	5.2	+0.3
昨年より休みが取れそうにない	7.5	▲0.9

(図表 28)今後 1 年間の旅行の支出に対する意向

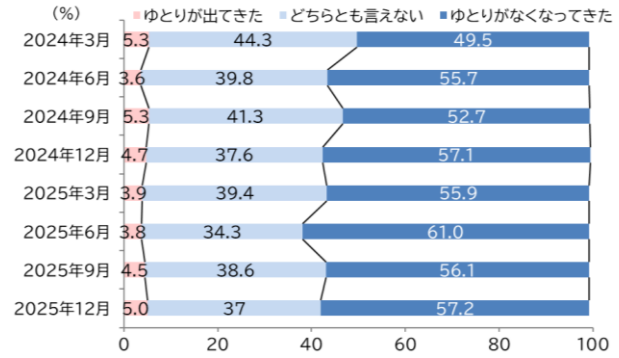
(単一回答、回答者数=10,000)

	%	前年比
支出を増やしたい	11.9	▲0.3
同程度(合算)	48.7	+1.5
単価を減らし回数を増やす	8.8	▲0.7
単価を増やし回数を減らす	8.4	▲0.3
単価も回数も同程度	31.5	+2.5
支出を減らしたい	39.4	▲1.2

(図表 29)旅行の際に気になるキーワード(複数回答、回答者数=2,060)



(図表 25)現在の暮らし向き



出典:日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」データをもとに JTB 総合研究所作成

(図表 27) 今後 1 年間の旅行に対する意識

(複数回答、回答者数=10,000)

	%	前年比	
気持ちや条件	情勢や治安、衛生面の不安の少ない地域であれば、旅行をした	15.1	▲3.4
	情勢や治安、衛生面などに不安があるので、旅行は行きたくない	5.5	▲0.4
	不安や物価高の影響の少ない地域であれば、旅行をしたい	9.3	▲3.2
	不安や物価が上がっているため、しばらくは旅行したくない	8.8	▲2.8
	旅行先を選ぶ際に、混雑していないような人気の旅行先は避けるようにしたい	16.2	▲1.2
	旅行先を選ぶ際に、混雑していても人気の旅行先を優先させた	2.6	▲1.2
旅行目的	自然現象・野生動物による不安やリスクが少ない地域・時期を選んで旅行をしたい(豪雨・台風・猛暑、クマなどの出没)	10.1	-
	暑さや寒さ、花粉など、季節による自然現象の不快を避けられる地域・時期を選んで旅行をしたい	9.9	-
サポート	本場の美味しい料理を食べに旅行したい	13.5	-
	気分をリフレッシュするために旅行したい	26.1	-
	高価格であってもサポートやサービスが充実している添乗員付きツアーを選びたい	3.6	▲0.7
	添乗員付きでなくても最低限のサポートが得られる割安なバックツアーを選びたい	5.2	▲1.6
	サポートなどがなくてもいいので、とにかく低価格な旅行(個人手配を含む)を行いたい	9.6	▲3.6
サポートなどがなくてもいいので、自分自身で好きなように動きたい	21.7	▲7.0	

(図表 30)「GW 旅行予定人数・費用推計値」の推移

	総旅行人数(延べ)(万人)			一人あたりの 平均旅行予定費用(円)		総消費額(億円)		
	総数	国内旅行	海外旅行	国内旅行	海外旅行	総数	国内旅行	海外旅行
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2006年 (4/26~5/6)	2,202 +1.2%	2,147 +1.2%	55.0 +1.1%	38,993 +0.3%	250,584 ▲1.0%	9,748 +1.3%	8,370 +1.5%	1,378 +0.1%
2007年 (4/25~5/5)	2,202 +0.0%	2,149 +0.1%	53.6 ▲2.5%	39,100 +0.3%	251,700 +0.4%	9,750 +0.0%	8,401 +0.4%	1,349 ▲2.1%
2008年 (4/25~5/5)	2,125 ▲3.5%	2,080 ▲3.2%	45.4 ▲15.3%	39,100 +0.0%	254,700 +1.2%	9,289 ▲4.7%	8,133 ▲3.2%	1,156 ▲14.3%
2009年 (4/25~5/5)	2,179 +2.5%	2,130 +2.4%	48.7 +7.3%	36,900 ▲5.6%	213,100 ▲16.3%	8,897 ▲4.2%	7,859 ▲3.4%	1,038 ▲10.2%
2010年 (4/24~5/4)	2,221 +1.9%	2,169 +1.8%	51.7 +6.2%	36,100 ▲2.2%	224,400 +5.3%	8,991 +1.1%	7,831 ▲0.4%	1,160 +11.8%
2011年 (4/24~5/4)	2,035 ▲8.4%	1,981 ▲8.7%	53.7 +3.9%	33,800 ▲6.4%	209,600 ▲6.6%	7,823 ▲13.0%	6,697 ▲14.5%	1,126 ▲2.9%
2012年 (4/25~5/5)	2,261 +11.1%	2,201 +11.1%	59.6 +11.0%	34,900 +3.3%	210,000 +0.2%	8,934 +14.2%	7,682 +14.7%	1,252 +11.2%
2013年 (4/25~5/5)	2,332 +3.1%	2,278 +3.5%	53.5 ▲10.2%	35,900 +2.9%	230,800 +9.9%	9,414 +5.4%	8,179 +6.5%	1,235 ▲1.4%
2014年 (4/25~5/5)	2,318 ▲0.6%	2,268 ▲0.5%	50.4 ▲5.8%	34,400 ▲4.2%	249,500 +8.1%	9,060 ▲3.8%	7,802 ▲4.6%	1,258 +1.9%
2015年 (4/25~5/5)	2,389 +3.0%	2,336 +3.0%	53.1 +5.4%	35,800 +4.1%	263,000 +5.4%	9,683 +6.9%	8,363 +7.2%	1,320 +4.9%
2016年 (4/25~5/5)	2,400 +0.5%	2,341 +0.2%	58.8 +10.7%	35,200 ▲1.7%	259,000 ▲1.5%	9,763 +0.8%	8,240 ▲1.5%	1,523 +15.4%
2017年 (4/25~5/5)	2,418 +0.8%	2,360 +0.8%	58.1 ▲1.2%	35,600 +1.1%	257,000 ▲0.8%	9,895 +1.4%	8,402 +2.0%	1,493 ▲2.0%
2018年 (4/25~5/5)	2,437 +0.8%	2,375 +0.6%	61.9 +6.5%	36,200 +1.7%	264,000 +2.7%	10,232 +3.4%	8,598 +2.3%	1,634 +9.4%
2019年 (4/25~5/5)	2,494 +2.3%	2,401 +1.1%	92.9 +50.1%	35,900 ▲0.8%	268,000 +1.5%	11,110 +8.6%	8,620 +0.3%	2,490 +52.4%
2020年 (4/25~5/5)	-	500 ▲79.2%	-	28,700 ▲20.1%	-	-	1,435 ▲83.4%	-
2021年 (4/25~5/5)	-	950 +90.0%	-	32,300 +12.5%	-	-	3,069 +113.8%	-
2022年 (4/25~5/5)	1,605 -	1,600 +68.4%	5.0 -	34,500 +6.8%	-	-	5,520 +79.9%	-
2023年 (4/25~5/5)	2,291 +42.7%	2,260 +41.3%	31.0 +520.0%	34,800 +0.9%	257,000 -	8,662 -	7,865 +42.5%	797 -
2024年 (4/25~5/5)	2,325 +1.5%	2,280 +0.9%	45.0 +45.2%	36,100 +3.7%	269,000 +4.7%	9,441 +9.0%	8,231 +4.7%	1,211 +51.9%
2025年 (4/25~5/7)	2,403 +3.4%	2,350 +3.1%	52.7 +17.1%	47,000 +30.2%	322,000 +19.7%	12,742 +35.0%	11,045 +34.2%	1,697 +40.1%
2026年 (4/25~5/7)	2,447 +1.9%	2,390 +1.7%	57.2 +8.5%	46,000 ▲2.1%	329,000 +2.2%	12,876 +1.1%	10,994 ▲0.5%	1,882 +10.9%

*対象期間は2025年度より4月25日~5月7日と期間変更。

*調査開始は1969年。海外旅行人数は2025年まで実績値(2026年は推計値)。国内旅行人数は推計値で、動向結果により前年の発表数値から一部修正。

*平均旅行予定費用については、1993年より推計。動向結果により前年の発表数値から一部修正。

*2019年より市場調査をインターネットアンケート調査に変更。

*2020年・2021年は、平均海外旅行予定費用および海外旅行消費額を算出していないため、総旅行消費額は国内旅行消費額を掲載。

*2021~2023年の総消費額は、単純比較が行えないため、前年比の記載なし。

【旅行動向アンケート 調査方法】

調査実施期間：2026年3月6日~11日

調査対象：全国15歳以上79歳までの男女個人

サンプル数：事前調査10,000名 本調査2,060名

(事前調査で「GWに旅行に行く/たぶん行く」と回答した人を抽出し本調査を実施)

調査内容：2026年4月25日~5月7日に実施する1泊以上の旅行

(国内旅行は観光および帰省目的の旅行に限る、海外旅行は業務目的の旅行を含む)

調査方法：インターネットアンケート調査

※調査結果の数字は四捨五入のため、小計や前年公表の調査結果との差分が合わない箇所があります。

■報道関係の方からのお問合せ先 JTB 広報室

TEL:03-5796-5833(※5/1(金)まで) メールアドレス:jtb0074_all@jtb.com